

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道118号 那珂～大宮バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県那珂市飯田 至：茨城県常陸大宮市下村田	延長	8.3 km		
事業概要 一般国道118号は、茨城県水戸市を起点とし福島県会津若松市に至る延長約210 kmの幹線道路である。 那珂～大宮バイパスは、那珂市及び常陸大宮市市街地の交通混雑緩和による円滑な交通の確保と常陸那珂港へのアクセス性向上を目的とした延長8.3 kmの4車線道路である。					
H 8年度事業化	H 9年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 9年度用地着手	H 16年度工事着手		
全体事業費	102億円	事業進捗率	23%	供用済延長	0.7 km
計画交通量	39,100台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 68 / 93 億円 (事業費：62/87 億円 維持管理費：6/6 億円)		総便益 (残事業/事業全体) 188/188 億円 (走行時間短縮便益：158/158 億円 走行費用減少便益：30/30 億円 交通事故減少便益：0/0 億円)	
	(残事業)			基準年：平成17年	
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（日本三名瀑 袋田の滝、大子広域公園へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（対象区間が「茨城県地域防災計画」において第一次緊急輸送道路に指定） 他 5項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、常陸大宮市をはじめとする関係3市1町の首長で構成される国道118号改修期成会が整備促進の要望（平成17年11月9日）を行っている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 大子広域公園等が新規に立地したことにより、バイパス整備による行楽シーズンにおける交通渋滞の緩和が求められている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部区間において用地補償協議が難航し、工事着手までに長期間を要したが、現在までに約0.7 kmを部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 優先区間（県道日立笠間線～大宮バイパス間 約3.2 km）を設定し、この区間の用地取得を平成21年度までに完了させ、早期完成を目指して工事の進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等 再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。